

福岡空港関連 自動車専用道路の 計画検討に関するアンケート



このアンケートは、福岡空港関連自動車専用道路の計画づくりの参考にさせていただくため、福岡市より、みなさまにご意見をお伺いするものです。

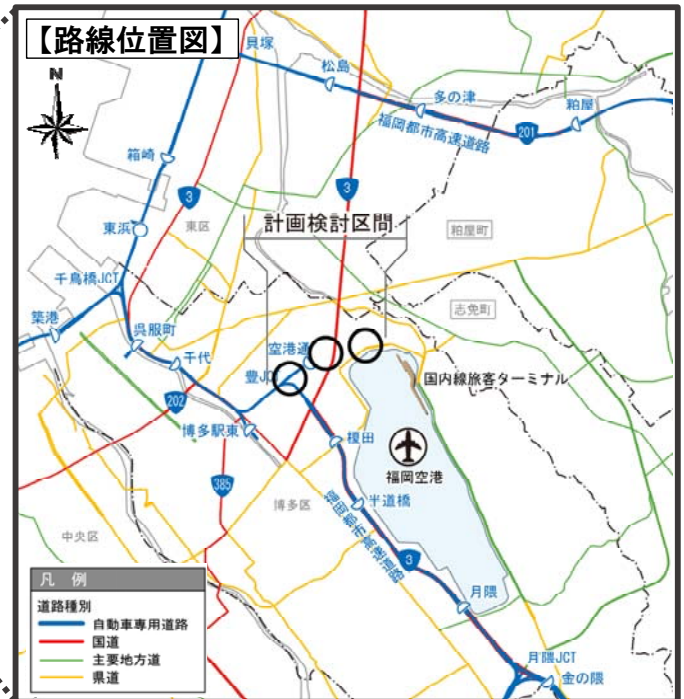
また、本アンケートは環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続を兼ねています。

福岡空港関連 自動車専用道路の計画検討区間

(1) 計画検討の内容

- 福岡空港では、滑走路増設事業が進められており、事業期間は約10年が見込まれています。
- 福岡市南部地域や太宰府インターチェンジ方面からの都市高速道路と国内線旅客ターミナルのアクセス改善や、国道3号の混雑緩和を図るため、自動車専用道路の検討を行います。

(2) 位置



このアンケートの
お問い合わせ先

福岡市 住宅都市局 都市計画部 自動車専用道路担当

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号 TEL : 092-711-4399
E-mail : senyoudou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp FAX : 092-733-5590

アンケートにご協力ください

■回答の提出方法

- ・回答は、付属の「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに投函してください。
- ・福岡市のHPでの回答は、回答用紙をダウンロードして、回答を下記アドレスまで送信してください。

E-mail : senyoudou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

■締め切り

平成27年 **10月16日(金)**までに必着できるよう、投函（又は送信）をお願いします。

※このアンケートは、環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続を兼ねています。

※いただいたご意見等は、統計的な処理にのみ使用いたします。また、他の目的での使用や、第三者に提供することはありません。

問1_福岡空港の利用、空港の近くに用事がある、自動車などで空港の近くを通過するなどの場合の状況についてお聞きします。

※当てはまらない方は、問2(次のページ)にお進みください。

(1) 主な目的は何ですか。

(当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- ① 空港利用
(空港利用以外)
- ② 通勤・通学 ③ 日常生活（買い物など） ④ 仕事 ⑤ その他

(2) その目的の頻度はどのくらいですか。

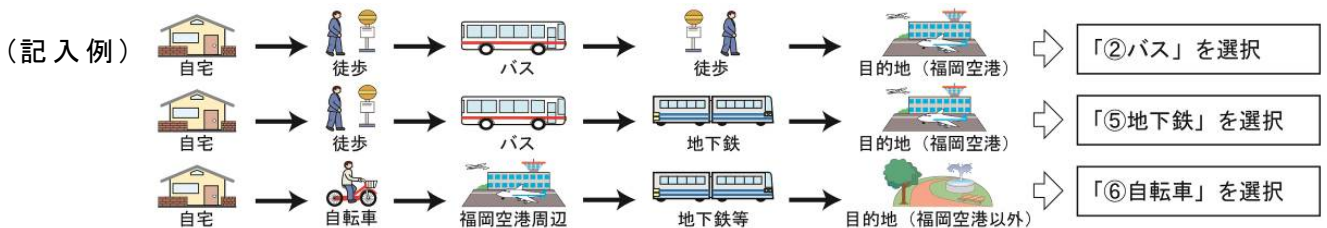
(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- ① ほぼ毎日 ② 数日/週 ③ 数日/月 ④ 数日/年

(3) その目的の主な交通手段は何ですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- ① 自家用車（送迎含む） ② バス ③ タクシー ④ 商用車（貨物車含む） ⑤ 地下鉄 ⑥ 自転車
⑦ 徒歩 ⑧ その他



(3)で「①～④」と答えた人にお聞きします。

(3)で「⑤～⑧」と答えた人

(4) 都市高速道路を利用しますか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- ① 利用する ② 利用しない

問2にお進み
ください。

(4)で「①」と答えた人にお聞きします。

(4)で「②」と答えた人

(5) 以下の中でよく利用するランプはどこですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- ① 空港通 ② 榎田 ③ 半道橋 ④ 月隈 ⑤ 金の隈 ⑥ 西月隈
⑦ その他 ⑧ 分からない

問2にお進み
ください。

※4・5ページに示した「複数案の検討」を参考にお答えください。

問2_自動車専用道路の計画にあたり、次ページに示す複数案(ルート)を検討する際、空港へのアクセス改善や周辺道路の混雑緩和以外で、どのようなことに配慮すべきと思いますか。

下記の①～⑤の項目について、それぞれ5段階で評価してください。
(1～5 いずれかに○を1つずつ、つけてください。)

配慮すべき事項	1 特に配慮すべき	2 配慮すべき	3 やや配慮すべき	4 あまり配慮する必要はない	5 分らない
①生活環境(大気質など)、自然環境、景観への影響が少ないこと	1	2	3	4	5
②浸水・地震などの災害時の影響が少ないこと	1	2	3	4	5
③空港機能や道路交通への影響を少なくすること(安全性の確保)	1	2	3	4	5
④工事期間中の周辺交通、航空機の運航への影響を最小限にすること	1	2	3	4	5
⑤建設費用が安いこと	1	2	3	4	5

問3_前記(問2)に示した事項以外で、あなたが配慮すべきと思うこと等があれば、**ご自由にお書きください。**

(自由回答)

※環境について頂いたご意見は、環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見として取り扱わせて頂きます。

問4_あなたのことについてお聞かせください。

(当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

(1)住所 福岡市 (①東区 ②博多区 ③中央区 ④南区 ⑤城南区 ⑥早良区 ⑦西区)
 ⇒丁目等もご記入ください (町丁目) ※記入例(天神1 町丁目)

⑧福岡市以外 (市・町) ⑨福岡県外 (都・道・府・県)

(2)性別 ①男性 ②女性

(3)年齢 ①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代以上

(4)職業 ①会社員・公務員・団体職員 ②自営業 ③学生 ④家事手伝い ⑤専業主婦・専業主夫
 ⑥アルバイト・パート ⑦その他 ()

(5)自動車運転免許証の有無 ①有 ②無

(6)自動車運転 ①する ②しない

ご協力ありがとうございました

複数案の検討

(1)複数案（ルート）の基本的な考え方

- ①既存の都市高速道路を有効活用し、福岡高速3号線を国内線旅客ターミナル方面へ延伸
- ②豊ジャンクションにおいて、太宰府方面と国内線旅客ターミナル方面を繋ぐルートを設定

(2)ルート検討上の留意点

空港が近接していることから、航空法による高さ制限など航空機の安全な運航に配慮したルートを検討する。（右図参照）

(3)複数案の概要と比較(案)



■航空路と道路が近接（航空法による高さ制限）



■航空保安関係施設（進入灯）



※概略計画(ルート)は、実際の道路より広い幅100m程度を設定します。
 ※詳細な道路線形・構造・ランプ(出入口)の位置等は、今後の都市計画や環境影響評価の検討の中で決定します。

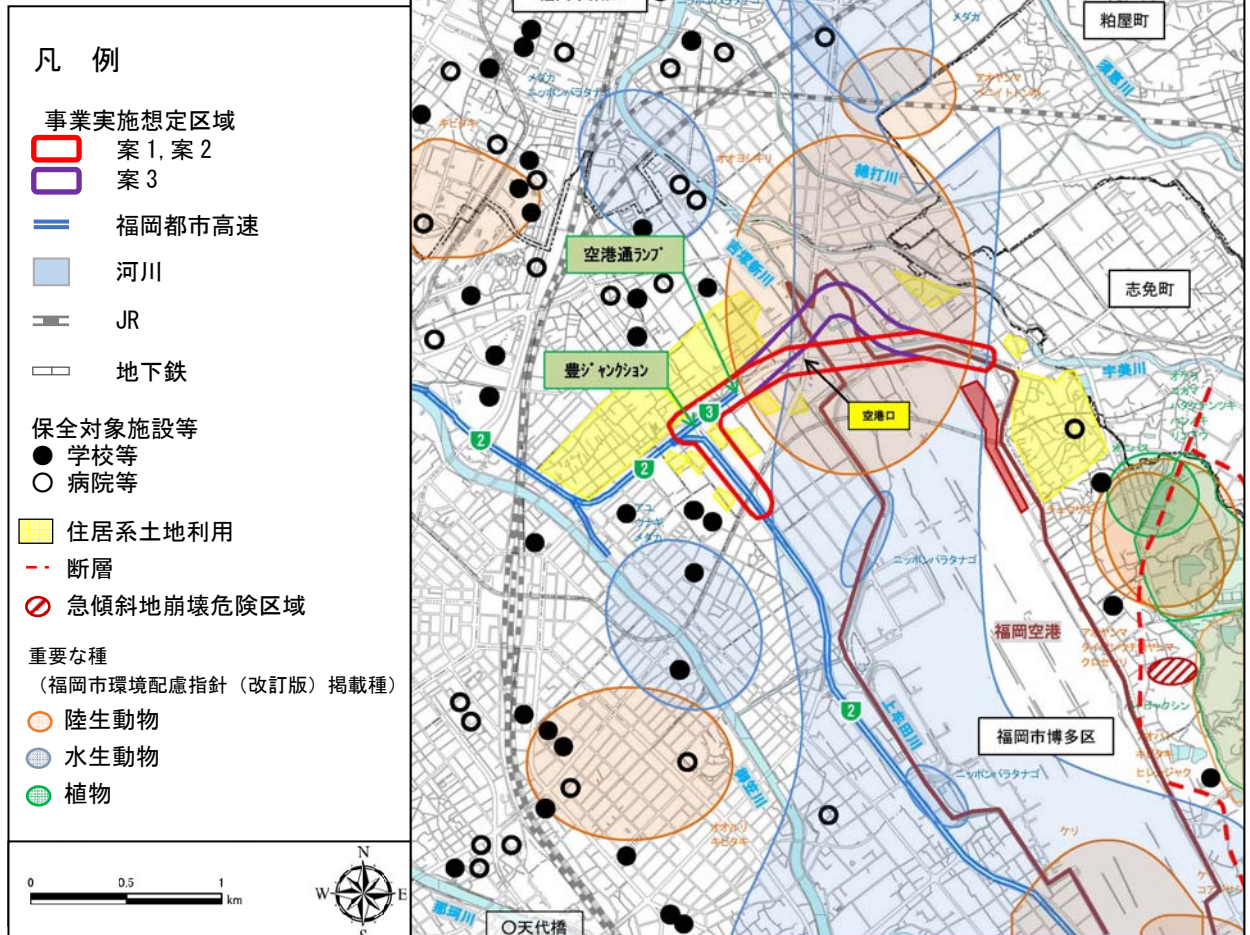
		既存道路の活用案 案1（高架案）		既存道路の活用案 案2（トンネル案）		迂回案 案3（迂回案）		
概要・特徴		既存道路(空港通り)空間を活用しながら、国道3号空港口交差点を 高架橋 で立体交差し、国内線ターミナルへ延伸するルート ※ただし、高さ制限と道路空間との離隔がほとんどない		既存道路(空港通り)空間を活用しながら、国道3号空港口交差点を トンネル で立体交差し、国内線ターミナルへ延伸するルート		空港の高さ制限と道路空間との離隔を確保しながら、国道3号を 高架橋 で立体交差し、国内線ターミナル方面へ延伸するルート ※ 高架橋 が空港から離れることで、案1と比べ、空港の高さ制限と道路空間との離隔を確保できる		
効果等	空港へのアクセス改善	自動車専用道路が空港場内へ直結するため「空港通」「半道橋」「金の隈」の各ランプからの所要時間が短縮される（約5分～約10分短縮）						
	周辺道路の混雑緩和	1.一般道の交通が自動車専用道路に転換するため、空港周辺道路の混雑が緩和される 2.主要渋滞箇所（空港口・榎田・立花寺）の通行を回避できる						
道路整備による影響等	①生活・自然環境等		生活環境		大気質		沿道の大気質に影響を与える可能性は小さい	
			騒音		沿道の大気質に影響を与える可能性は、案1、案3よりも小さい		沿道の大気質に影響を与える可能性は小さい	
			その他(地盤)		一部トンネル化により、沿道の騒音に影響を与える可能性は、案1、案3よりも小さい		沿道の騒音に影響を与える可能性はある	
			その他(公園)		一部トンネル化により、地盤への影響を与える可能性がある		地盤に影響を与える可能性は、案2よりも小さい	
			自然環境		影響なし		影響なし	
	②災害への影響		浸水		トンネル区間は周辺の景観を損なわない		高架橋の存在により景観を損なう可能性がある	
			地震		トンネル部の浸水対策が必要となる		高架橋のため影響なし	
			空港機能・道路交通への影響		一般的にトンネルは地震に強いと評価される		高架橋は兵庫県南部地震(H7.1)規模に耐えられる耐震構造となっている	
			航空機の進入灯		トンネルのため、空港の高さ制限の影響はない		空港の高さ制限はクリアするものの、航空路と高架橋が近接する（高さ制限と道路空間との離隔の余裕が殆どない箇所が生じる）	
			航空機の運航		トンネルのため進入灯への影響はない		さらに航空機の離発着時にパイロットに心理的影響を与える可能性がある	
④工事期間中の影響		交通		トンネルのため航空機が見えないため、案1、案3より脇見事故の懸念は小さい		高架橋のため航空機の進入灯の全面的な改良が必要		
		国道3号への影響		トンネル走行中は航空機が見えないため、案1、案3より脇見事故の懸念は小さい		航空機が高架橋上空を通過する際の車の脇見事故が懸念される		
		航空機の運航		一般的にはカーブ区間の事故が多く、案3に比べカーブ区間が少ないため事故の懸念は小さい		トンネル区間では航空機が見えないため、案1、案3より脇見事故の懸念は小さい		
その他		建設期間		一般的にはカーブ区間の事故が多く、案3に比べカーブ区間が少ないため事故の懸念は大きい		航空機が高架橋上空を通過する際の車の脇見事故が懸念される		
		建設費		一般的にはカーブ区間の事故が多く、案1、案2よりカーブ区間が多いため事故の懸念は大きい		トンネル区間では航空機が見えないため、案1、案3より脇見事故の懸念は小さい		

(参考)生活環境・自然環境等の状況

(1)生活環境等の状況



(2)自然環境等の状況



第1回意見聴取の結果

(1)意見聴取の目的

地域や道路の現状と課題、道路計画の必要性の意向を把握する

(2)意見聴取の結果

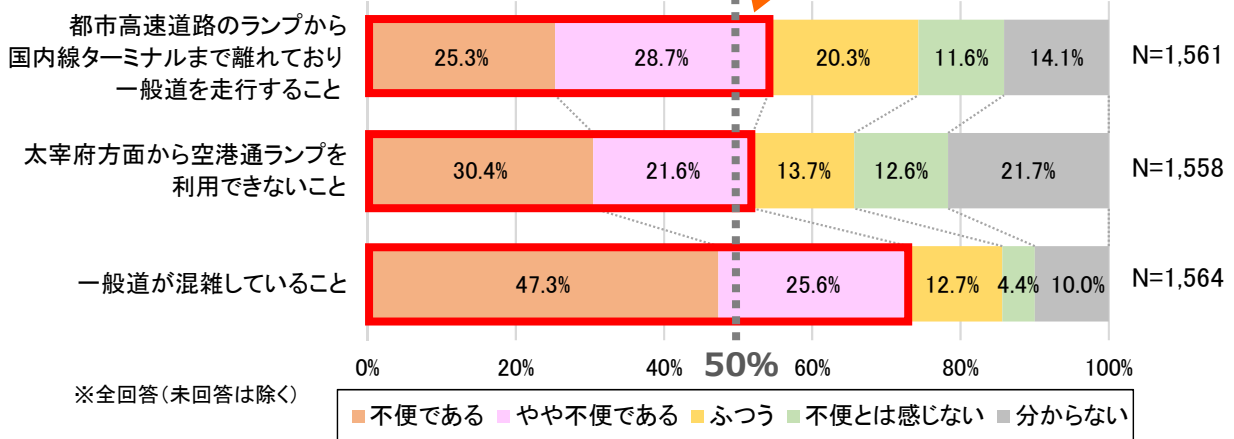
範囲	対象	意見聴取の方法		
広域	一般	アンケート調査	WEB等	・828回答
			チラシ等	・情報プラザ、区役所等にアンケート設置：496回答
	企業等	ヒアリング調査	・空港関連企業等を訪問（バス、タクシー、旅行会社、物流など）：31社	
周辺地域	一般	説明会	・空港周辺等：10箇所	
	企業等	オープンハウス	・国内線旅客ターミナルロビー：245回答	

意見聴取期間：平成27年7月10日～8月8日
 アンケート回答数：1,569件(WEB等、チラシ等、オープンハウスの合計)

(3)意見聴取結果概要

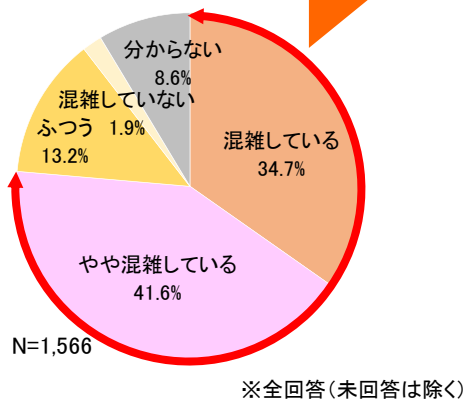
■国内線旅客ターミナルへのアクセスについて

「不便である」「やや不便である」が5割以上



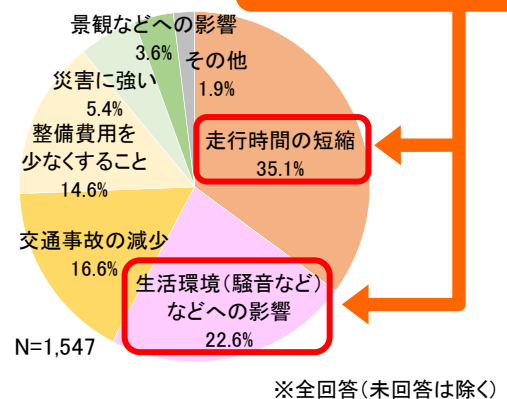
■空港周辺道路の混雑について

「混雑している」「やや混雑している」が7割以上



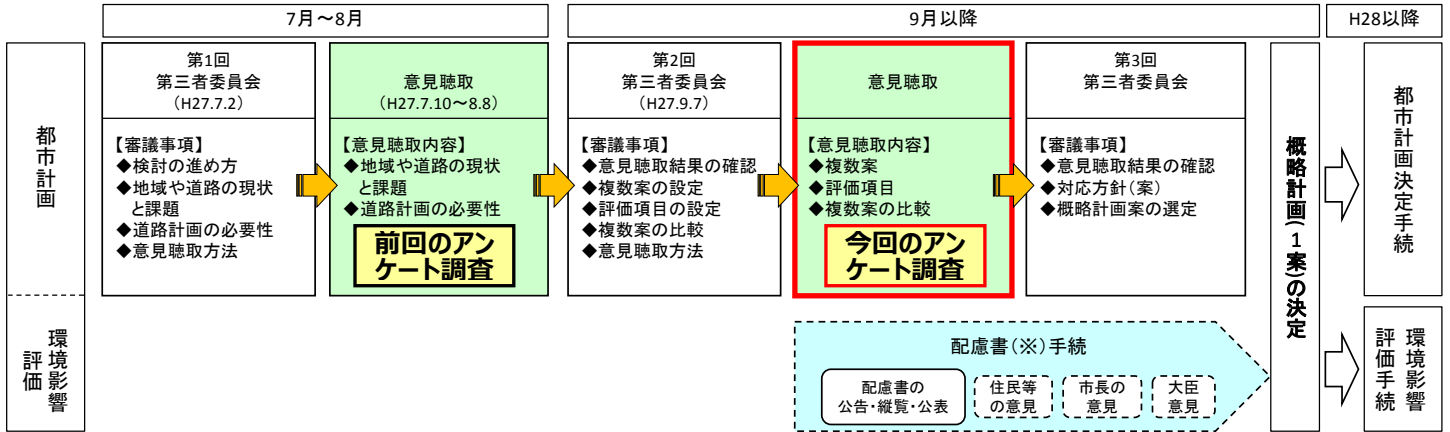
■自動車専用道路の計画に際し、アクセス改善、混雑緩和以外で重視すべきこと

「走行時間の短縮」や「生活環境などへの影響」を重視すべきとの声が多い



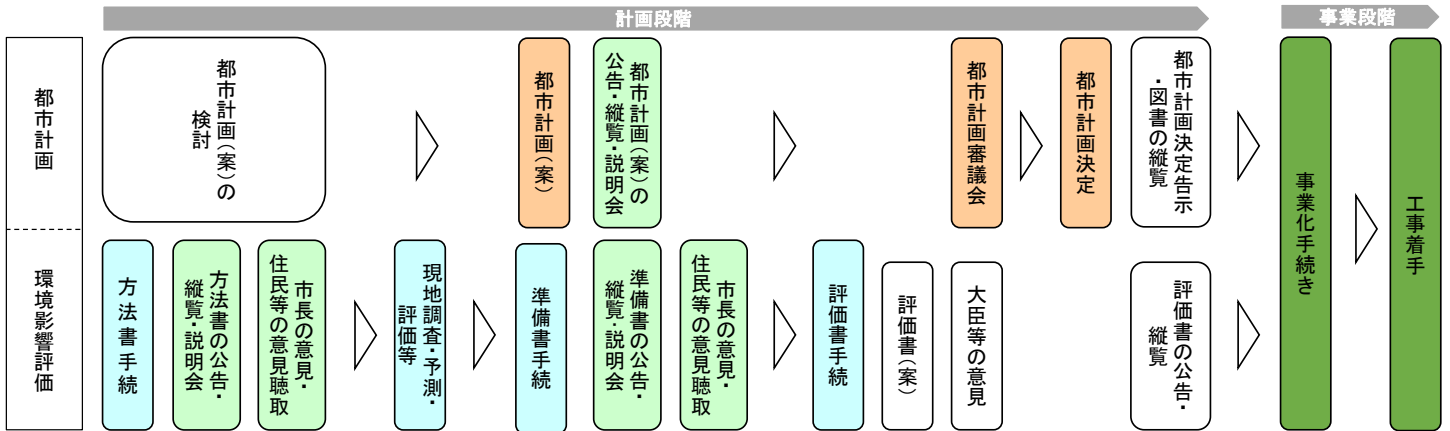
概略計画の検討の進め方

皆さまや第三者委員会等のご意見を伺いながら、いくつかの案を検討し、計画の熟度を高めつつ、社会面、経済面、環境面等の様々な観点から総合的に評価して、概略計画を決定します。



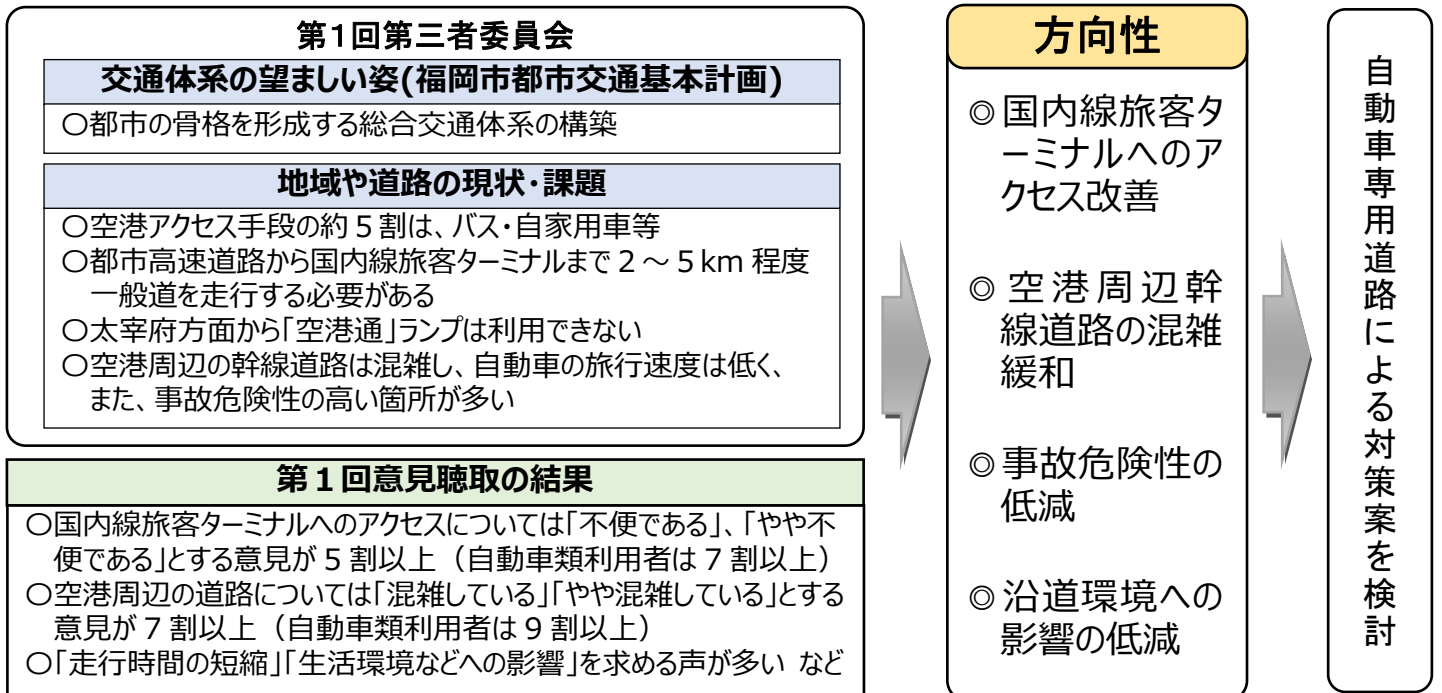
(※)配慮書：事業の早期段階における環境影響について検討しまとめたもの

(参考)平成28年度以降の進め方



道路計画の必要性(案)

地域や道路の課題を改善するための方策の方向性は、以下のとおりです。



○詳しい資料は福岡市役所のホームページでもご覧いただけます

福岡空港 自動車専用

検索

http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/jidosha-senyo/shisei/fukuokakuko_jisenndou/fukuokakukojisendokeikakukentou.html